

クラス番号	328	担当教員名	山崎康一郎
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	相手も私も深く理解して、「よりそう」支援が実践できるようになる 》 心理療法・心理的ケア、子ども虐待、社会的養護、障害のある子ども支援 《		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

新しい価値を創造できるような多様な視点を持って、支援現場の高度なニーズに応え、「よりそいたい」という思いを実現できる実践力を高めてほしいと思います。

ゼミ生の主体性と学生同士の学び合いを大切にしています。また、子ども、障害のある方、その家族、支援者との出会いから、多くを学んでほしいと思います。→学生間の交流や現場での体験を行いたいと思います。

♣心理的支援方法の練習

虐待などの被害体験によるこころの傷つきのケア、安心できる人間関係づくりの支援、障害のある子どもや家族へ支援ができるように、支援の道具を増やし、支援力を高めましょう。

練習するアセスメントや心理カウンセリングのスキル

- ・心理カウンセリング面接：内面を理解するための基本的な面接方法
- ・TFT (Thought Field Therapy)：不安やトラウマのケア
- ・バウンダリープログラム：安心で大切にしたい人間関係のための支援
- ・CBT (認知行動療法) や SST：よい人間関係をつくるためのコミュニケーションを支援する方法
- ・ABA：子育てや障害のある子どもへの支援方法

※支援スキルとして、希望者は TFT パートナー、SST ファーストレベルが修得できるようにサポートします。

♣児童養護施設や障害児通所支援施設での事例検討会

現場の支援者の方と一緒にケースについて考えていきます。

少年鑑別所の見学、児童養護施設での企画、他ゼミや他大学のゼミ（心理学のゼミ）と交流・合同ゼミ、ゼミ合宿があります。

授業計画：

興味関心から幅広くテーマをみつけてください。

現場での支援や、アルバイト、子どもをはじめ様々な支援を必要とする方との出会いを通して深めていきます。根拠を示しながら、新しい発見や問題意識に対する解決策を提示します。

テーマの例：SNS、自己肯定感、居場所、推し、アイドル、友人関係、恋愛、不登校、リストカット、化粧、非行、ゲーム、性格検査 (Big Five や MBTI など)



詳しくはこちらをどうぞ！！
大学アカウント
n-fukushi から見て
ください



謎とき
ヒント

謎とき
こたえ



担当教員からのメッセージ



私は児童福祉施設で勤務するなかで、被虐待経験や非行など困難な問題に直面し、仕事をしながら社会福祉士、臨床心理士を取得しました。支援を必要とする方によりそうには、学び続けること、スキルを修得することが大切です。

人に関心があり、様々な体験にひたかりをもって、自ら、みて、きいて、考えて、学んでいける姿勢があるといいですね。

そして、遊ぶことと悩むことがこころのケアには大切です

遊べる大人、悩み続けられる人になりましょう